

# なんたん 社協だより

2018.1

第36号

あべての住民のこころが輝く福祉のまちづくり



**ふれあい交流、はじめました** 美山町の平屋地区福祉推進協議会と大谷大学（京都市北区）との協働活動が平成28年度から始まりました。学生が平屋地区にお住いの高齢者宅へ戸別訪問し、暮らしの困りごとの聴き取り調査や家のお手伝いなどを行っています。今回の表紙では、昨年10月に行われた戸別訪問の様子をお伝えします。詳しい内容は6～7ページをご覧ください。

## 目次



南丹市社協マスコット  
「ニャンたん」

新年のご挨拶	2
郵便局・南丹市・南丹市社会福祉協議会で 「見守り協定」を締結しました	2
園部ライオンズクラブ様より福祉車両を寄贈いただきました	2
あなたのまちの応援団	3
シリーズ「地域の未来をデザインする。」	4～5
「平屋地区福祉協×大谷大学」 協働で進めるふれあい・支えあい	6～7
善意のご寄付	7
ニャンたんが行く！あなたのまちのふれあいいきいきサロン	8

## 新年明けましておめでとうございます

市民の皆様には、平成30年の新春をお健やかにお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年中は、当会の運営に格別のご理解とご協力を賜り、心から感謝とお礼を申し上げます。

さて、今国では、新たな時代に対応した、様々な改革が進められております。

福祉の分野におきましても、生活の基盤となる「地域」の大切さが謳われ、「支え手側」「受け手側」に分かれるのではなく、地域のあらゆる住民が役割を持ち、支え合いながら、自分らしく活躍できる地域コミュニティを育成し、公的な福祉サービスと協働して、助け合いながら暮らすことのできる「地域



社会福祉法人  
南丹市社会福祉協議会  
会長 田中 博

ごあいさつ

共生社会」の実現を目指した取り組みが進められております。

こうした動向は、地域福祉を住民主体で進めることを理念とする社協にとりましても好機と考えているところでございます。

本年も役職員一丸となって地域福祉の推進に取り組んでまいりますので、市民のみなさまの一層のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新しい年がみなさまにとりまして幸多い年となりますことをご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。



## 郵便局・南丹市・南丹市社会福祉協議会で「見守り協定」を締結しました



高齢者等見守り活動に関する協定締結式

平成29年11月9日、南丹市役所にて南丹市内の郵便局(14局)、南丹市、南丹市社会福祉協議会(以下、社協)の三者で「高齢者等見守り活動に関する協定締結式」が行われました。

この協定では、郵便局の社員が配達時に「ポストに新聞や郵便物が溜まっている」などの異変を発見した場合、市役所と社協へ連絡・通報をするというものです。

連絡を受けた者は地域や関係機関と連携し、速やかに対応します。

## 園部ライオンズクラブ様より福祉車両を寄贈いただきました

平成29年10月18日、南丹市国際交流会館にて「園部ライオンズクラブ 結成55周年記念例会」が開催されました。

例会では「結成55周年記念アクティビティ」が紹介され、その中の一つとして南丹市社協への福祉車両の贈呈が発表されました。

発表後に贈呈式がおこなわれ、園部ライオンズクラブの井尻正博会長より、南丹市社協の田中博会長へ、目録と車両の鍵が贈られました。南丹市社協からは、園部ライオンズクラブへ感謝状をお渡ししました。

田中会長は「園部ライオンズクラブの皆さまのお気持ちに感謝申し上げます、いただいた福祉車両は南丹市の社会福祉の充実と向上の為に役立てていきたい」と感謝の気持ちを述べました。

この車両は、南丹市社協 園部事務所にて使用することとなり、福祉有償運送をはじめ、地域福祉のために利用されています。



園部ライオンズクラブ 井尻会長(左)と  
南丹市社協会長 田中会長(右)



贈呈された福祉車両





# あなたのまちの 応援団

 連載第7回

「たべる・輪」(日吉町)  
「みんなでごはん」  
(八木町)

大人も子どもも、誰もが気軽に参加でき、あたたかい食事を囲むことでつながれる。そんな交流の場が南丹市内でも増えてきています。今回ニャンたんは、その中で2つの取り組み取材しました。興味を持った方はぜひ、社協までお問い合わせください。

## たべる・輪<sup>わ</sup>(日吉町)

地元の食材を取り入れた手作りのごはんを囲み、大人も子どももみんなで楽しく交流できる場が、日吉町胡麻にオープンしました。

NPO法人胡麻地域振興会が主催し、地元の有志により運営されています。

世代を越えた交流の場として、誰でも気軽に参加できます。



開催日：毎月第3金曜日  
時 間：午後6時から  
場 所：郷の駅 胡麻屋  
(南丹市日吉町胡麻的場1-2 胡麻駅)  
対 象：どなたでも(事前申込が必要です)  
参加費：一律500円

## みんなでごはん(八木町)

ほかほかごはんに、子どもたちのはしゃぐ声や大人たちのおしゃべりの声、大家族のようなにぎやかで楽しい空間です。

楽しくおしゃべりしながら一緒に調理したり、食べに来るだけでも気軽に参加できます。

NPO法人グローアップを始め、住民や有志が集う「みんなでごはん実行委員会」により運営されています。



開催日：毎月第4金曜日  
時 間：作り始め 午後3時から  
食べ始め 午後8時から \*食べるだけでもOK!  
場 所：コミュニティスペース 気になる木JUJU<sup>ジュジュ</sup>  
(南丹市八木町八木 八木防災センター向い)  
対 象：どなたでも(事前申込が必要です)  
参加費：大人500円、子ども(中学生以下)300円  
\*大人から取り分けする幼児は無料

## 福祉の視点から考える、これからの南丹市 ～「普段の生活に関するアンケート調査」を実施しました～

地域の課題や解決方法について話し合う場として、南丹市の全域で地域別懇談会が毎年開催されています。今年も様々な議論が行われる中で「車の免許を持たない高齢者が、外出するのに困っている」という意見が多く見られました。

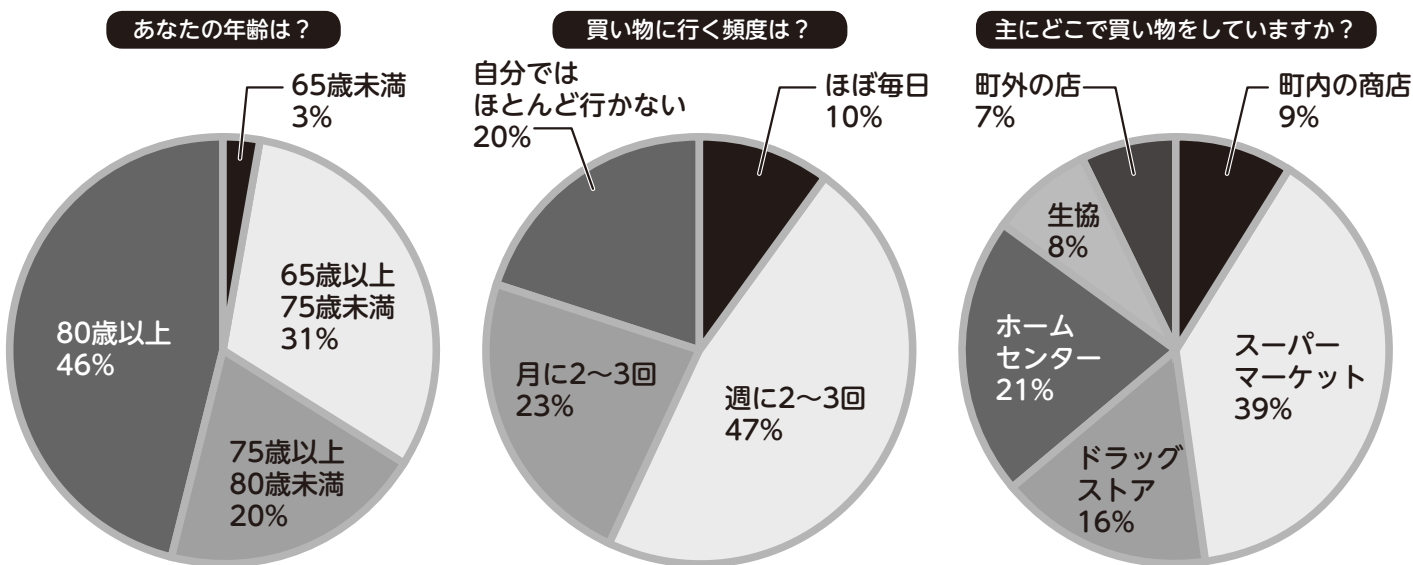
そこで今回、社協 園部事務所では園部町にお住まいの方々を対象に、移動手段についてアンケートを取ることにしました。住民の方々が買い物や病院へ行く際に、普段どのようなことを感じているのかを明らかにし、今後、安心して暮らせる地域づくりを考えることを目的としています。

アンケートでは「公共交通を充実して欲しい」「移動販売に来て欲しい」など、様々な意見をいただきました。この結果を踏まえ、南丹市社協としても、どのような移動手段の仕組みが作れるのかを地域みなさんと一緒に考えていきたいと思っています。

### 「普段の生活に関するアンケート」調査結果

対 象：老人クラブ連合会、ふれあい・いきいきサロン活動者、ふれあい委員等

回答数：1,074 男女比：4：6



(複数回答可)

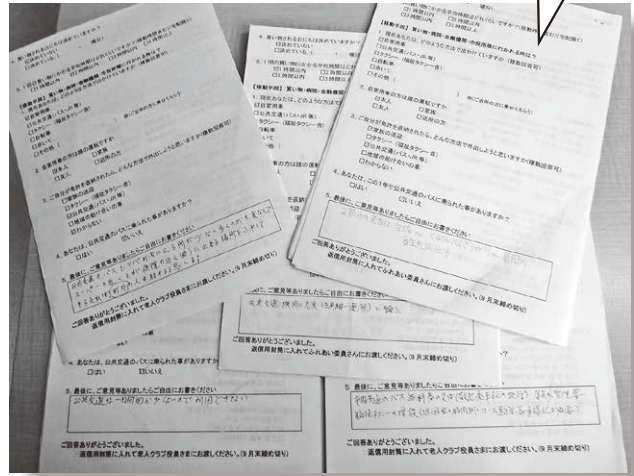
#### 不安に思っていること

- \* この先自分が運転できなくなったらとても不便です。買い物や外出ができず、生活が苦しくなると思うと不安で一杯です。近くに家族が住んでいますが、毎回の送迎は遠慮してしまうと思います。
- \* 地域活性化のためには、公共交通の運行は絶対に必要だと思います。ただ、便数が少なく運賃が高いため行政と住民が一体となって公共交通を活用する方策を立てなければいけないと思います。
- \* 子供は離れたところに住んでいるので、自分が車に乗れなくなった時、どうやって目的地に行くのか不安です。ぐるりんバスも集落には入ってこないし、自転車にはしばらく乗っていません。食品を売る移動販売車に週2回ほど回ってもらいたいです。

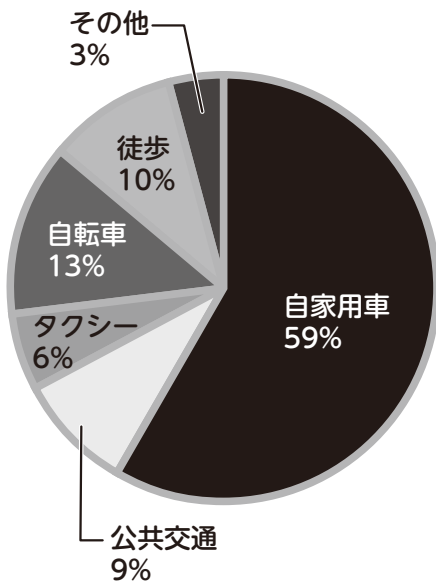


この調査は、主にふれあい委員さんや老人クラブ連合会の皆さんにご協力いただきました。アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

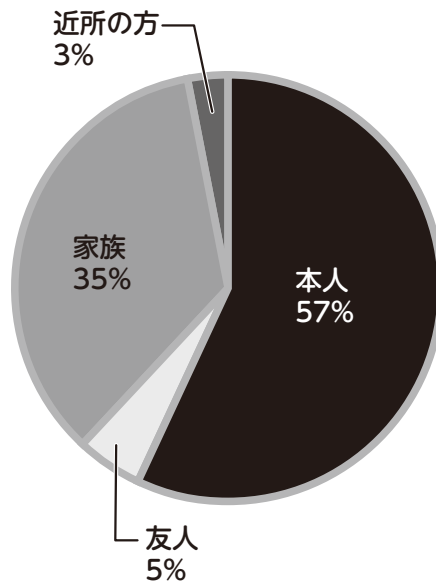
8月末から9月末にかけて調査を行いました。短い期間でしたが、計1,074名の方に回答していただきました。



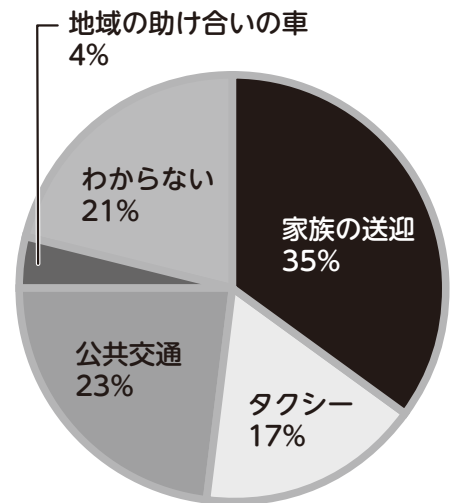
主な移動手段は？



自家用車は誰が運転していますか？



運転免許証返納後の移動手段は？



(複数回答可)

## 新しい助け合い活動も行われています

移動手段について、南丹市内でも様々な取り組みが行われています。その一つに、園部町竹井区の「住んでよかった竹井区」活動があります。竹井区で独自に移送サービスに関するアンケート調査を行い、その調査結果をもとにお買物支援サービスとして「竹井家族号（仮称）」を試行されました。区民が送迎のボランティアとなり、社協の車を利用して地域に住む高齢者をスーパーマーケットなどのお店へ送迎しました。計5回行い、延べ12人が利用しました。





美山町

平屋地区 × 大谷大学  
地域福祉推進協議会

# 協働で進める

ふれあい

支えあい

去る10月7日、8日の2日間、京都市の大谷大学の学生が美山町平屋地区を訪れ、旧平屋小学校を舞台に地域の方との交流を深めました。

昨年度、大谷大学の志藤修史教授と学生、南丹市社協の協力により「高齢者の困りごと調査」を実施した美山町平屋地区。調査では「話し相手がほしい」という意見が最も多くみられました。今回はその結果を踏まえ、多くの高齢者とふれあう機会として、ふれあいカフェを学生に企画してもらいました。

参加した学生は全部で19名。今回初めて美山町を訪れた学生は「地域福祉に興味がある。今回の実習で多くの学びを持って帰りたい」と意気込んでいる様子でした。



## 総勢100名のふれあいカフェ

日頃のふれあいカフェの場を基本に学生が企画・運営し、平屋地区のサロンも加わって行われた、いわば「大谷大学サロン」。



クチコミや周囲からの誘いもあって、集まった人数は総勢100名。会場のランチルームはあっという間に満員御礼となりました。

学生による津軽三味線演奏



でスタート。続いてバイオリンやギター、フルートなどの学生の生演奏をバックに「ふるさと」や「糸」「上を向いて歩こう」などの曲をみんなで歌いました。

参加者からは「楽しかった。一緒に行こうと声をかけてもらえてよかった」「三味線の演奏が凄かった。また来てほしい」と喜びの声がたくさん聞かれました。

## 調査から支援へ

2日目には学生が直接高齢者宅を訪問し、農作業の手伝いや大型ゴミの処分、草刈りなどのお手伝いをしました。

話し好きな方のお宅を訪問した学生は、2時間ずっといろんな話をしました。「ニコニコしながら話すおばあちゃんがとても可愛らしかった」と学生も楽しんでいました様子。また、農作業を手伝った学生は「私たちでも大変な作業だった。高齢者



や体の不自由な人にとっては、もっと大変なのに…」と普段の暮らしぶりに感心している様子でした。

主催した平屋地区地域福祉推進協議会の役員からは「話したくても話し相手がいない地域の現状を学生さんが解消してくれた。地域に若い力が入っていけば活性化へとつながる。今年も平屋に来てくれたことに感謝します」と学生に言葉を送りました。

調査から支援へとステップアップした平屋福祉協の活動に、学生の新鮮な気付きがプラスとなって、地域の皆さんの暮らしに相乗効果が生まれることを願っています。また、この活動を社協も応援しています。



### ●地域の声●

- ・三味線の演奏が最高でした。
- ・音楽が楽しかった。一緒に歌えるのが嬉しい。
- ・同級生に久しぶりに出会えました。
- ・しんどい作業を手伝ってくれて助かる。
- ・若い人と話すのが楽しい。  
将来の事を考えてくれている。
- ・たくさんの若い人に囲まれて  
元気をもらえた。
- ・庭がきれいになりました。
- ・今度はウチに泊まったらいい。
- ・また来て話し相手になって下さい。



### ●学生の声●

- ・調査も交えて楽しく話げできた。
- ・高い所の額に手が届かなくて直してあげられなかった。誰か直してあげて！
- ・補聴器の修理すらなかなか行けないと聞いて、何とかしてあげたいなあ。
- ・みなさんの前向きな姿に元気をもらいました。
- ・活動を評価してもらえて嬉しい。
- ・気さくに話しかけてもらってこちらも話しやすかった。
- ・また美山が好きになりました！



## 善意のご寄付ありがとうございました

《平成29年9月1日～平成29年11月30日受付分》

京都山坊主	様	3,796円	胡麻夏祭り2017出店売上金の一部を福祉のために
塩貝 勲	様	10,000円	福祉のためのために
船枝愛友会	様	2,800円	心持ち運動で集めた募金を福祉のために
奥村 安治	様	200,000円	福祉のために
中川 智晴	様	100,000円	亡父の供養に
聖家族幼稚園保護者会	様	5,000円	バザー収益金の一部を福祉のために
南丹市ゴルフ協会	様	50,000円	ひより舎のために
佐野 博子	様	30,000円	亡夫の病氣見舞返しの代わりに
北星中学校昭和30年度卒業生同窓会	様	13,026円	福祉のために

福嶋 生雄	様	30,000円	福祉のために
西田 隆則	様	50,000円	車いす借用のお礼に
匿名寄付	15件	匿名寄付計	413,500円
園部ライオンズクラブ会長 井尻 正博	様	送迎用福祉車両	結成55周年記念事業として福祉のために
谷内 博	様	もち米 30kg	社協内各事業所のために
近畿地方郵便局長夫人会 やまゆりの会 南丹京丹波部会	様	軍手180双・手作り収納ケース	福祉のために
中野 みさ子	様	毛糸	
匿名預託	2件		





第7回

# あなたのまちの ふれあい いきいきサロン

えわ  
江和すみれサロン(美山町)

開催日：1ヶ月に1回(毎月15日)

場 所：江和公民館

秋晴れの心地よいお天気の中、ニャンたんは美山町江和の「江和すみれサロン」へお邪魔しました。



この日は男性3名、女性4名の参加がありました。太鼓すもうでは、思うように動いてくれない力士にヤキモキしつつも真剣になって勝負されていました。その後は時間を気にせず、おしゃべりに花を咲かせてされていました。

好きなことをして、難しいことはしない。みんなの顔が見えるのが楽しいと口を揃えて言っておられ、無理なく自然体で過ごされていたのが印象的です。



以前はサロン活動でシイタケ栽培もされていました。できたシイタケは業者に引き取ってもらい、ちょっとしたお小遣い稼ぎにもなり、そのお金で小旅行や買い物ツアーもされていたそうです。また復活したら楽しそうですね！



## うちのサロン自慢

参加者同士の仲が良く、なんでも話せるのが自慢です！人数は少なくても、全員が気遣いなく過ごせるのが一番です。

“ニャンたん取材にきてほしい～”というサロンや団体、行事などを募集しています。

発行

社会福祉法人 南丹市社会福祉協議会

本 所 〒629-0301 南丹市日吉町保野田垣ノ内11番地 ☎ 0771-72-3220 FAX 0771-72-3222  
(代表) メールアドレス na\_shakyo@cans.zaq.ne.jp

園部事務所 〒622-0014 南丹市園部町上本町南2番地22 ☎ 0771-62-4125 FAX 0771-63-5606  
八木事務所 〒629-0134 南丹市八木町西田山崎17番地 ☎ 0771-42-5480 FAX 0771-42-4412  
日吉事務所 〒629-0301 南丹市日吉町保野田垣ノ内6番地4 ☎ 0771-72-0947 FAX 0771-72-0732  
美山事務所 〒601-0722 南丹市美山町安掛下8番地 ☎ 0771-75-0020 FAX 0771-75-0829

ホームページ

南丹市社協

検索